

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2171200393		
法人名	有限会社 介護社		
事業所名	グループホーム 助一みのかも(1ユニット)		
所在地	美濃加茂市森山町5-23-3		
自己評価作成日	平成22年1月5日	評価結果市町村受理日	平成22年 3月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kouhyou.winc.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2171200393&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	平成22年1月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>自然な環境の中で残存機能をできる限り維持できる様、その人に合った個別リハビリに力を入れていくことで、利用者の楽しみながら、やりがい、意欲を引き出していきたいと思っています。レクリエーションを通して利用者同士、スタッフのコミュニケーションが図れ、仲間意識ができる、楽しく、明るい、生き生きとしたグループホームを目指しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>閑静な住宅街に位置したホームの前には広い畑が広がり、利用者や職員は、野菜の種まきや草取り、野菜の収穫を楽しみ、取れた野菜は食卓を賑わしている。利用者の機能を少しでも維持できるよう、個別のリハビリを行い、入居が長期であっても身体維持できている人もある。四季おりおりのドライブや外出・外食は、利用者や職員、双方の楽しみともなっており、桜の木の下で、調理の得意な職員が作った弁当を持って、利用者・家族・職員が一緒になって楽しいひと時を過ごす取り組みは、春の恒例行事となっている。医療連携加算は取っていないが、母体の看護ステーションや主治医との密な連携により、利用者の体調管理は万全に行われている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価票(1ユニット)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「いつでも、どこでも、だれでも同じ援助・介護を笑顔で個別に提供する」と「どなたにも気軽に訪問して頂く」ことを心掛け支援している。	地域との共生の精神が「いつでも、どこでも、だれでも」と理念にうたわれており、個人の尊重を大事にしつつ、住み慣れた地域での安定した生活の継続に繋げる努力をしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域的に難しいが、自治会へ加入する事で、住民の介護相談をうけたり、ボランティアの方に訪問して頂き、利用者も参加し楽しく交流している。	地元の婦人会が介護に関する相談に訪れたり、自治会にも加入して、地域の一員として定着している。運営推進会議に参加した住民の紹介で、地域の人が入居したり、琴や舞踊の地元ボランティアがホームを気軽に訪れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「どうしたら、施設に入れるの?」と訪ねてこられたり、見学・説明を通して理解して頂いている。又、行政・包括支援にも運営推進委員会を通して、報告している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政・包括・民生委員・地域代表・主治医・家族代表等の参加で、活動・現状報告している。又、出席者からも意見を頂き、見直しに活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回、行政や地域包括支援センター・民生委員・家族代表により開催され、ホームからの報告だけでなく、緊急時等の避難場所を住民から求められたりと、様々な提案や意見交換が活発に行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	みのかも市のサービスネットワーク会議への参加で他事業所との関わりをもったり、話し合いの時間をもうけている。又、事例をあげ検討会議を開くなど取り組んでいる。	市の担当者が運営推進会議に出席しており、情報交換や意見交換を行い、常に新しい情報収集に努めている。	今後さらに、保育所との交流や小・中学校の福祉体験等をホームで取り組む際、行政には地域とホームの架け橋になってもらえるよう働きかけ、地域福祉のさらなる充実に期待したい。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修・勉強会を通して、拘束禁止の理解をしている。又、当施設では 玄関施錠については、外に出てしまわれる利用者もいる為、時間を決めるなど取り組んでいる。	身体拘束に対する精神的弊害に関しては、常に管理者と職員は研修と話し合いを行い、利用者の状態によって玄関の開放や施錠の時間を使い分けている。2つのユニットは、利用者が自由に行き来できるようになっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修・勉強会を通し、職員は理解に努めている。利用者間においても、声掛け・見守りをし、防止に努めている。		

岐阜県 グループホーム助一みのかも

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関しては、外部研修を受けている。成年後見制度も取り入れ、行政にも協力頂いている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な説明と御理解を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見ポスト・ポスターを貼り、重要事項説明には、苦情申し出窓口をわかりやすく一覧している。家族の訪問時には、意見を聴いたりアンケートを頂いたり努めている。	意見箱が設置されているが、意見は直接ホームに届くことが多い。ホーム独自に家族アンケートを行い、その結果をまとめ、サービスの質の向上に繋げる計画をしている。	家族から届く意見やアンケートからは、利用者本位の運営に努力しているホームの実態が、家族に充分伝わっていないために出てくる意見もあり、双方の思いを調整できる機会を多く持たれたい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を、積極的に聞く機会を設け反映している。又、職員の定着率も高いと判断している。	職員の希望に添った働き方を考慮した採用で、職員の定着率は高い。意見や提案が言いやすい雰囲気があり、毎月の会議では職員から活発に意見が出され、運営に取り入れられている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準・労働時間等職員の職場環境条件の整備に努力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は、積極的に受講し、職場内勉強会も熱心に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の施設訪問や地元医療法人や社会福祉法人のネットワークの交流など、積極的に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	体験入所・見学などをして頂き、時間を共有するなかで、本人に安心と信頼をもって頂ける様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	依頼の段階から本人・家族のお話を十分に聞き、担当ケアマネからも情報を頂き、安心して頂けるような、信頼関係に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	頂いた情報を基に、必要支援の検討・確認をし、その人らしい生活を通して頂ける様、適切な対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者に寄り添う姿勢で、本人の声を十分に聞いてさしあげ、一緒に過ごしながらの見守りに心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族通信・電話で近況報告を行い、ホームの行事には家族の参加もお願いし、絆を深めている。来訪の少ない家族には、電話を入れ来訪をお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染み美容へ家族におつれ願ったり、本人の希望で電話・手紙・はがきなどを出してもらっている。又、一緒にポストへ投函している。	週に2~3回、家族や友人・知人がホームを訪問し、利用者と交流をしている。長期の入居により、外へ出かけることが難しくなった人が多いが、職員の努力で、極力、個々の要望にこたえられるよう外出などをこまめに行い、馴染みの関係が途切れないよう配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩時、自立者が車イスの方を押して頂いたり、エプロンをして下さったりと、利用者間の支援、支え合いができる様な雰囲気作りをしている。又、利用者間のトラブルがない様に、気配りをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	花見・花火大会・運動会等の行事に連絡し家族にも参加していただいている。その後の経過を見守り相談や支援に応じています。又、訪問看護からの情報も頂いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりとの会話、また利用者同士の会話に耳を傾け思いや希望を聞き入れられる様、月2回のケアカンファレンス等で意見を出し合い人間としてよりよい居場所となるよう取り組んでいる。	職員が日々の会話や表情から拾い上げた個々の暮らしの情報や、好きな事、好きな服選び等、聞き取った情報を細かく分類して記載され、ホーム内という不自由さを感じないように配慮している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者一人ひとりの生活歴や趣味・趣向を把握し家族との連携も重視しつつ、これまでの暮らしを支えています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ3名で利用者9名の毎日の状態・様子観察を行い、介護日誌に記録し職員全員の目も養いながら現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良い暮らしが出来るよう月2回の話し合いと家族の意見なども含め計画を作成し、設定期間ごとに見直しを行い、日々変化があれば、その都度話し合いをして、その状況に合わせた対応をしている。	身体機能や精神面など全体的なケアができる介護計画を作成している。利用者全員の見直し期日の一覧表が作成されており、個々の見直しが確実に行われ、職員全員で現状に即した対応ができています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日職員にしか得られない情報を記録し共有し月2回のケアカンファレンス、スタッフ会議等に反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主治医、歯科医師、訪問看護からも医療的支援・指導も受けている。包括支援センターとも連携を取っている。		

岐阜県 グループホーム助一みのかも

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議にて地域の実情の把握や協力をお願いしている。花ボランティアや音楽療法などは定期的に来所され、又買物や文化施設で展示物の鑑賞など楽しみにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回往診日がある、利用者さんと先生の信頼関係もあり家族も安心されている。又その状況に応じて必要な専門医へ紹介、受診もしている。歯科は連絡すればすぐ往診に来て頂いている。	同法人の訪問看護や主治医と24時間連携をしており、月2回の往診の他、歯科往診も行っている。受診内容は、ホームと家族の双方が確実に連絡を行い、情報の共有化を図る支援体制をとっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は日常的に利用者の些細な変化でも申し送りで伝え、必要に応じて受診や看護を受けられるように訪問看護の看護師等に相談・支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	日頃から看護師・管理者が情報交換、治療法、期間など相談、話し合いをして家族とも話をし、安心して治療が出来るよう病院関係の方々との関係作りを大切にしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合は、家族、医師、看護師の意向を確認しながら十分話し合い終末期迄真心をもってスタッフ全員で取組んだ。	原則として、医療行為が必要となった場合は他施設へ移ることとなっているが、家族が付き添うなど信頼関係により看取りを行った経験がある。今後、重度化対応が必要になった人に関しては、その都度、家族・主治医や看護師など関係機関を交え、十分に話し合い、ホームが出来る範囲で支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	カンファレンスや定期的勉強会の中で利用者の状況把握に勤め、急変や事故発生時の対応ができるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災・地震など形をかえて、月1回訓練を行っている。スタッフ全員、今でも訓練とは思わず危機感を持ち、その時々合った避難の仕方、あせらず、安全に、速やかに心をかけて行っており、終了後反省を必ず行い、また「実際に起きたら」という観点から話し合いも行っている	毎月避難訓練を行い、必要物品なども備えている。住民からは一時避難所としての利用の要請があり、ホームが地域内で重要な災害時拠点となる役割を担うため、快諾した。訓練後には反省会を毎回行うなど、災害に関する意識は大変高い。	さらには、災害時の家族への連絡方法・職員間の伝達方法などを、地域全体で話し合えるような働きかけを工夫されたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者1人ひとりの人格によって言葉を選びながら対応するように心がけています。時には気分を損ねられる時もありますが、スタッフが代わるなどし対応するように努めています。薬など体に塗布する時、汚染し更衣、交換する時など居室、トイレに誘導するようにしています。	利用者の状態により、居室での着替えを促したり、トイレでのカーテンの使用、人生の誇りや尊厳を損ねないような言葉かけなど、法人のプライバシーに対する姿勢が職員に根付いている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴、リハビリ、レクリエーション、外気浴など拒否がある時には無理に勧めることはしません、又希望がある時は出来る限り応えるようにしています。例えば散歩に行きたいと言われる時は、一緒に同行したり、手紙・はがきの投函と一緒に出かけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者からの希望は出来る範囲で支援しているが職員の都合がどうしてもつかない時もあるため、時間をずらして頂き支援するようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴後の更衣時、違う服にしたいという希望などある時は本人の好きな服を聞いて更衣して頂きます。自立している利用者さんには起床時、洗面し髪など自己にて整えて頂いていますが、介助が必要な利用者にはスタッフが介助し行ないます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食後、食器、お盆など利用者に手伝ってもらい拭いて頂いています。季節に応じて、干し柿、切干大根などスタッフと食材やそれにまつわる話しなどしながら一緒に手伝って頂いています。	利用者に合わせ、ペースト・刻みなど食べやすい状態で食事ができるよう調理にも気を配っている。職員も同じテーブルに着き、介助しながら見守って食事をしている。ほぼ毎日のおやつ作りでは、利用者が得意な分野を楽しんで行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医師の指示に従い、主食・副食の量を利用者1人ひとりに応じて対応しています。水分を多く取って頂きたい利用者に対しては、すぐ水分補給できるように常に手の届く所に置かせて頂くようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは毎食後にやっています。自立の人は自己にてやって頂きますが、声かけが必要な利用者には声かけしながら、なるべく自己にてやって頂きます。介助が必要な利用者にはスタッフが介助にて行い舌の状態により舌のケアも行っています。		

岐阜県 グループホーム助一みのかも

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	食事・入浴・就寝前等にトイレの声掛けをおこなっている。排泄の失敗を減らし、少しでも快適に生活して頂くために、早めの声掛け、誘導も大切と思い、一人ひとりの習慣に合った支援を行っている。夜間も、個別時間誘導したりと対応している。	排泄パターンを把握できるよう記録し、その情報によって、入居時の排泄状態が低下することなく維持できている利用者が多い。他施設から入居した利用者も、職員の努力によって、排泄の自力度が高くなるなど、排泄に関する日々のケアの結果が出ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日行っている全員参加のリハビリ体操の他に、個々に合った時間と場所で、個別リハビリを行い、腸の活性化を助長します。食事に関しては、畑の野菜を中心に、又おやつには乳製品を中心としている。又水分はテーブルに常備している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の希望やタイミングが合わない場合もあるので、個々に合った時間帯に変更することもあります。又、入浴嫌いな方には、気を紛らす様に仕向け、気持ちよく入浴してもらえるように努力している。	冬場は週2回、夏場は週3回が基本であるが、利用者の希望により、日にちを変更したり時間を変えるなど、柔軟に対応し、入浴が利用者の楽しみとなるよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、休みたいと言われれば、居室で休んでもらっている。時間を見計らって声掛けし、ロビーへおつれします。その時間が短くても「よく休めた」と喜ばれます。昼夜逆転しない程度の時間に、留めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	氏名・日付・時間を必ず確認して、直接手渡しして、服薬した事を確認している。体調の変化等があったらすぐに主治医に連絡して指示をえている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器拭き、洗濯干し、洗濯たみ等のお手伝いをしてもらっている。はり絵・色塗り・計算ドリル等、利用者さんが得意な分野の事をやってもらっている。音楽療法・誕生日会等の楽しい行事も行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今は、インフルエンザの予防対策で、外出を控えています。スーパーに買い物・喫茶店等に出掛けている。今は、外気浴として、畑の周りを散歩していますが、家に帰りたいたいの希望者には、時間をかけ散歩にも対応している。通院・外出・一時帰宅も家族にお願いしている。	天候等に合わせ、外出を控えたり、個別の少人数で外出・散歩したりと柔軟に行っている。食べたい物を利用者に決めてもらい、食材を職員と一緒に買い出しに出かけることもある。また、利用者の希望に応じて買い物に同行するよう配慮している。	

岐阜県 グループホーム助一みのかも

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己にて管理が難しいため、事務所で保管し利用者の希望があればお金の確認を職員と共にし安心安定を図っている。足りない物、欲しい物は、家族に持ってきてもらうようにしている。又、事務所で準備し、後で請求する方法を取っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、本人の状態をみながら、できるだけ支援をしています。手紙のやり取りをしている方もみえます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が自由に行動できるよう、配慮された作りになっており、スタッフが、一人ひとりの行動に重点をおいて見守り、声掛けを行っています。	利用者がどの場所でもゆったりと自由に過ごせるよう、家具や椅子が配置されている。廊下には居室に続く手すりが設置され、洗面所も車椅子でも使用でき、食事後は利用者は自分で歯磨きを行っている。2つのユニット間は廊下続きになっており、この廊下は散歩代わりに歩く利用者にとって、健康作りにも役立っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや玄関先のベンチを自由に利用して頂いています。また、ユニット間での行き来を自由にして、制限はありません。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	普段使っていたものを、持ってきて頂いています。利用者の状況に合わせ好みの物を置いたり、飾ったりして工夫している。	居室は利用者の個性とこだわりを活かした生活歴を感じさせる家具・仏壇・古い写真や手芸品など様々に飾られ、安心して過ごせるような居室となっている。それぞれ自慢の我が家であり、間取りは同じものの、利用者が使いやすいよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の前には、写真を貼ったり、歩行器、杖等、慣れたものを使用して頂いています。一人ひとりの状態に合った見守りを心掛けています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2171200393		
法人名	有限会社 介護社		
事業所名	グループホーム 助一みのかも(2ユニット)		
所在地	美濃加茂市森山町5-23-3		
自己評価作成日	平成22年1月5日	評価結果市町村受理日	平成22年 3月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	平成22年1月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価票(2ユニット)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「いつでも、どこでも、だれでも同じ援助・介護を笑顔で個別に提供する」と「どなたにも気軽に訪問して頂く」ことを心掛け支援している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域的に難しいが、自治会へ加入する事で、住民の介護相談をうけたり、ボランティアの方に訪問して頂き、利用者も参加し楽しく交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「どうしたら、施設に入れるの?」と訪ねてこられたり、見学・説明を通して理解して頂いている。又、行政・包括支援にも運営推進委員会を通して、報告している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政・包括・民生委員・地域代表・主治医・家族代表等の参加で、活動・現状報告している。又、出席者からも意見を頂き、見直しに活かしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	みのかも市のサービスネットワーク会議への参加で他事業所との関わりをもったり、話し合いの時間をもうけている。又、事例をあげ検討会議を開くなど取り組んでいる。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修・勉強会を通して、拘束禁止の理解をしている。又、当施設では 玄関施錠については、外に出てしまわれる利用者もいる為、時間を決めるなど取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修・勉強会を通し、職員は理解に努めている。利用者間においても、声掛け・見守りをし、防止に努めている。		

岐阜県 グループホーム助一みのかも

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関しては、外部研修を受けている。成年後見制度も取り入れ、行政にも協力頂いている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な説明と御理解を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見ポスト・ポスターを貼り、重要事項説明には、苦情申し出窓口をわかりやすく一覧している。家族の訪問時には、意見を聴いたりアンケートを頂いたりし努めている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を、積極的に聞く機会を設け反映している。又、職員の定着率も高いと判断している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準・労働時間等職員の職場環境条件の整備に努力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は、積極的に受講し、職場内勉強会も熱心に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の施設訪問や地元医療法人や社会福祉法人のネットワークの交流など、積極的に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	体験入所・見学などをして頂き、時間を共有するなかで、本人に安心と信頼をもって頂ける様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	依頼の段階から本人・家族のお話を十分に聞き、担当ケアマネからも情報を頂き、安心して頂けるような、信頼関係に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	頂いた情報を基に、必要支援の検討・確認をし、その人らしい生活を通して頂ける様、適切な対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者に寄り添う姿勢で、本人の声を十分に聞いてさしあげ、一緒に過ごしながらの見守りに心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族通信・電話で近況報告を行い、ホームの行事には家族の参加もお願いし、絆を深めている。来訪の少ない家族には、電話を入れ来訪をお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染み美容へ家族におつれ願ったり、本人の希望で電話・手紙・はがきなどを出してもらっている。又、一緒にポストへ投函している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩時、自立者が車イスの方を押して頂いたり、エプロンをして下さったりと、利用者間の支援、支え合いができる様な雰囲気作りをしている。又、利用者間のトラブルがない様に、気配りをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	花見・花火大会・運動会等の行事に連絡し家族にも参加していただいている。その後の経過を見守り相談や支援に応じています。又、訪問看護からの情報も頂いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりとの会話、また利用者同士の会話に耳を傾け思いや希望を聞き入れられる様、月2回のケアカンファレンス等で意見を出し合い人間としてよりよい居場所となるよう取り組んでいる。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者一人ひとりの生活歴や趣味・趣向を把握し家族との連携も重視しつつ、これまでの暮らしを支えています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ3名で利用者9名の毎日の状態・様子観察を行い、介護日誌に記録し職員全員の目も養いながら現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良い暮らしが出来るよう月2回の話し合いと家族の意見なども含め計画を作成し、設定期間ごとに見直しを行い、日々変化があれば、その都度話し合いをして、その状況に合わせた対応をしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日職員にしか得られない情報を記録し共有し月2回のケアカンファレンス、スタッフ会議等に反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主治医、歯科医師、訪問看護からも医療的支援・指導も受けている。包括支援センターとも連携を取っている。		

岐阜県 グループホーム助一みのかも

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議にて地域の実情の把握や協力をお願いしている。花ボランティアや音楽療法などは定期的に来所され、又買物や文化施設で展示物の鑑賞など楽しみにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回往診日がある、利用者さんと先生の信頼関係もあり家族も安心されている。又その状況に応じて必要な専門医へ紹介、受診もしている。歯科は連絡すればすぐ往診に来て頂いている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は日常的に利用者の些細な変化でも申し送りで伝え、必要に応じて受診や看護を受けられるように訪問看護の看護師等に相談・支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	日頃から看護師・管理者が情報交換、治療法、期間など相談、話し合いをして家族とも話をし、安心して治療が出来るよう病院関係の方々との関係作りを大切にしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合は、家族、医師、看護師の意向を確認しながら十分話し合い終末期迄真心をもってスタッフ全員で取組んだ。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	カンファレンスや定期的勉強会の中で利用者の状況把握に勤め、急変や事故発生時の対応ができるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災・地震など形をかえて、月1回訓練を行っている。スタッフ全員、今でも訓練とは思わず危機感を持ち、その時々合った避難の仕方、あせらず、安全に、速やかに心をかけて行っており、終了後反省を必ず行い、また「実際に起きたら」という観点から話し合いも行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者1人ひとりの人格によって言葉を選びながら対応するように心がけています。時には気分を損ねられる時もありますが、スタッフが代わるなどし対応するように努めています。薬など体に塗布する時、汚染し更衣、交換する時など居室、トイレに誘導するようにしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴、リハビリ、レクリエーション、外気浴など拒否がある時には無理に勧めることはしません、又希望がある時は出来る限り応えるようにしています。例えば散歩に行きたいと言われる時は、一緒に同行したり、手紙・はがきの投函と一緒に出かけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者からの希望は出来る範囲で支援しているが職員の都合がどうしてもつかない時もあるため、時間をずらして頂き支援するようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴後の更衣時、違う服にしたいという希望などある時は本人の好きな服を聞いて更衣して頂きます。自立している利用者さんには起床時、洗面し髪など自己にて整えて頂いていますが、介助が必要な利用者にはスタッフが介助し行ないます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食後、食器、お盆など利用者到手伝ってもらい拭いて頂いています。季節に応じて、干し柿、切干大根などスタッフと食材やそれにまつわる話しなどしながら一緒に手伝って頂いています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医師の指示に従い、主食・副食の量を利用者1人ひとりに応じて対応しています。水分を多く取って頂きたい利用者に対しては、すぐ水分補給できるように常に手の届く所に置かせて頂くようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは毎食後にやっています。自立の人は自己にてやって頂きますが、声かけが必要な利用者には声かけしながら、なるべく自己にてやって頂きます。介助が必要な利用者にはスタッフが介助にて行い舌の状態により舌のケアも行っています。		

岐阜県 グループホーム助一みのかも

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	食事・入浴・就寝前等にトイレの声掛けをおこなっている。排泄の失敗を減らし、少しでも快適に生活して頂くために、早めの声掛け、誘導も大切と思い、一人ひとりの習慣に合った支援を行っている。夜間も、個別時間誘導したりと対応している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日行っている全員参加のリハビリ体操の他に、個々に合った時間と場所で、個別リハビリを行い、腸の活性化を助長します。食事に関しては、畑の野菜を中心に、又おやつには乳製品を中心にしている。又水分はテーブルに常備している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の希望やタイミングが合わない場合もあるので、個々に合った時間帯に変更することもあります。又、入浴嫌いな方には、気を紛らす様に仕向け、気持ちよく入浴してもらえるように努力している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、休みたいと言われれば、居室で休んでもらっている。時間を見計らって声掛けし、ロビーへおつれします。その時間が短くても「よく休めた」と喜ばれます。昼夜逆転しない程度の時間に、留めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	氏名・日付・時間を必ず確認して、直接手渡しして、服薬した事を確認している。体調の変化等があったらすぐに主治医に連絡して指示をえている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器拭き、洗濯干し、洗濯たみ等のお手伝いをしてもらっている。はり絵・色塗り・計算ドリル等、利用者さんが得意な分野の事をやってもらっている。音楽療法・誕生日会等の楽しい行事も行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今は、インフルエンザの予防対策で、外出を控えています。スーパーに買い物・喫茶店等に出掛けている。今は、外気浴として、畑の周りを散歩していますが、家に帰りたいたいの希望者には、時間をかけ散歩にも対応している。通院・外出・一時帰宅も家族にお願いしている。		

岐阜県 グループホーム助一みのかも

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己にて管理が難しいため、事務所で保管し利用者の希望があればお金の確認を職員と共にし安心安定を図っている。足りない物、欲しい物は、家族に持ってきてもらうようにしている。又、事務所で準備し、後で請求する方法を取っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、本人の状態をみながら、できるだけ支援をしています。手紙のやり取りをしている方もみえます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が自由に行動できるよう、配慮された作りになっており、スタッフが、一人ひとりの行動に重点をおいて見守り、声掛けを行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや玄関先のベンチを自由に利用して頂いています。また、ユニット間での行き来を自由にして、制限はありません。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	普段使っていたものを、持ってきて頂いています。利用者の状況に合わせ好みの物を置いたり、飾ったりして工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の前には、写真を貼ったり、歩行器、杖等、慣れたものを使用して頂いています。一人ひとりの状態に合った見守りを心掛けています。		